



中橋 友子 議員
(日本共産党
幕別町議員団)



8月に北海道を直撃した台風は、幕別にも、家屋、農作物、商業などに経験したことが無い被害をもたらした。被災者の生活と生業を一日も早く取り戻すため、復興に万全を期すとともに、その教訓を生かし、防災計画の見直しを行うべきであり、以下伺う。

- (1) 国や道に向けた要請と見直しは。
- ① 本格的な治水対策・河川改修。
- ② 農業基盤整備。
- ③ 共済対象外の農作物への支援。
- ④ 商業者に対する支援・グループ補助などの直接支援・雇用調整助成金の支給。
- ⑤ 住居の被災者に生活再建資金の拡充。
- (2) 関係機関、他町村との連携は。
- ① 河川管理者との情報の共有と迅速な対応。
- (3) 避難対策は。
- ① 住民に対する避難準備情報の正確な理解と徹底。
- ② 避難所の収容人数を現実的なもの

問

台風被害の早期復興と防災計画の見直しを

答

各種支援、復旧事業を進めており、防災計画の見直しとともにマニュアルも整備する

の。

- ③ 避難所の施設管理者との連携。
- ④ 避難所の指揮系統の徹底。
- ⑤ 避難所の情報伝達の徹底。
- ⑥ 障がい者、高齢者への支援。
- ⑦ 高齢者施設、病院の避難指導。
- (4) 住民の声を取り入れ、防災計画の見直しを。

町長

(1) ①緊急的な対応として

- ① 猿別川や旧途別川の河道内の支障木の除去や河道掘削、樋門周辺の環境整備などを道に要請した。
- 今後、旧途別川の治水対策として、堤防強化や堤防のかさ上げの検討など、河川改修計画の見直しを要請する予定である。
- ② 国営で整備された排水機場の整備に係る方向性を検討するための予備調査が2カ年で実施されることとなった。
- ③ 農林水産省において、平成28年台風対応産地緊急支援事業が創設され、農協から作物残渣の撤去等の栽培環境整備支援について申請がされた。



台風による札内川の状況

- ④ 東日本大震災等で措置されたグループ補助金の適用に向けて働きかけを行ってきたが、基準に合致せず適用には至らなかった。

- 雇用調整助成金の周知を図ったが、希望する事業者はいなかった。
- ⑤ 機会を捉え、町村会等を通じて拡充について働きかけていきたい。
- (2) ① ② 河川管理者や市町村、消防などで構成する十勝川水防連絡協議会、市町村や帯広開発建設部、釧路地方気象台、十勝総合振興局をメンバーとする十勝川減災対策協議会などと連携を図っている。

- (3) ① 広報紙への掲載記事の工夫やホームページへの掲載など、避難に関する情報の周知をさらに強化する。

- ② 収容率が低い札内市街での対策としては、防災協定を締結している十勝幕別温泉グランヴィリオホテルや江陵高等学校に避難者の受入れを要請するとともに、安全が確保できる他の地区の避難所へ誘導あるいは移送する予定でいる。
- ③ 定期的に各施設管理者と開設の手順等についての確認を行うよう努めていきたい。
- ④ 職員に対する初動期の避難所運営訓練を徹底していく。
- ⑤ 避難所開設時は必ず専任の情報連絡担当者置き、避難者の方に必要な情報を適切に提供する仕組みを確立し、体制を整え、情報の伝達を徹底していきたい。
- ⑥ 避難行動要支援者名簿の情報を提供するための同意を得て、名簿を調製し、関係機関への提供を行い、実効性を高めていきたい。
- ⑦ 施設の規模や入所者等の状況により適切な避難方法（高階層への垂直避難や関係施設への移動避難など）について指導していきたい。
- (4) 防災計画について今後見直しを行い、地域の意見を聞きながら防災対応マニュアルや避難所運営マニュアル等の整備も進めていく。